慧

七日

Ł

三十三回忌 七日忌

御誕生八百:

立教開宗八百年慶讚法要

日忌 九日

(高千穂町三田井淨光寺) 「賦課金」制度

山前坊守釋妙順

工様

高千穂組慶讚法要前日 職釋依章 七日忌 七日忌 月忌

六

追

|者同級生

仕舞

6月の天候 (アメダス)

4日/30日 15日/30日 347.5mm(降雨日数·18日)

人樣

月間総雨量・ 91.0mm (20日)

ホームページ開いています。 https://konkouji.jp/ 7月8日現在アクセス数 152,905人

仏事お休みのお知らせ

下記の日は緊急を除き仏事はお 受けできません。ご協力をお願い します。

7月

なさいました。

2024年

真夏日日数·

19日 2 1 日 午後 30日 終日

6月、次の金光寺門信徒の方がご往生

本 善

最低気温・ 8.9℃(4日) 最 高 気 温・31.2℃(19日)

6月12日 満92歳

謹んでお悔やみ申し上げます。

第276号 宮崎県西臼杵郡 五ヶ瀬町大字鞍岡 5927番地

2 0 9 8 2

83 - 2338

▲ ピンク色も鮮やかな睡蓮

(6月6日・当山)

慧 光

今月のことば 法語カレンダー 行いと言葉の背後に 世间があるか 如来があ

今月のことばは、妙好人の浅原才市のこと 毒と言いますが、三毒は生きている中で常に ば、

ぐちがをきたら ねんぶつもをせ ぐち の明やく なむあみだぶつ はらがたう たら ねんぶつ もをせ ぶつは ひの ての みずとなる なむあみだぶつ を味わう中で述べられたものです。

捉えているものが「なむあみだぶつ(南無阿 弥陀仏としてすが、「愚痴」とは仏教では根 本的な煩悩として挙げられる三毒の一つです。す。そのような煩悩を身にまといつづける私 愚かなこと、迷い(迷っていること)といっ にとって阿弥陀如来への帰依とは、私たちの た意味で捉えると良いと思います。また、立 腹(「はらがたうたら」) も同じく三毒の一 てくれることを期待してのものではなく、成 つで怒りを意味する「瞋恚」のことと読んで 仏にまで導いてくれるという後生の一大事を 良いでしょう。

これら二つの根本的な煩悩と、何でもむさ ぼるように欲しがる「貪欲」とを合わせて三

私たちを悩ませる煩悩であり、容易には取り 除けないものです。信仰に生きた才市におい ても三毒に悩まされる日々だったのだと思わ れます。

私たちの容易に拭い去れない煩悩と、そこ から起こる苦悩を解決したいと考えた時に、 才市が愚痴や立腹の妙薬(「明やく」)と 日常を超えた、つまり世間を超えた仏陀の覚 りの智慧の目という視点が重要になります。 しかし、覚ることが困難であるのが私たちで 世間的、日常的な生活の中の苦悩を取り除い お任せすることに他なりません。

> (本願寺出版社刊「大乗」誌掲載 『月々のことば』より抜粋 転載)

すプんミロイ▼今りに推り主んか押はい浜美朝してり近次てけを楽いをい いギ桂ルん山せ送亡なる石まれなのと結書は「い書職」 ^即いャ場のでケん上くこの田すまいで翼構き浜とらかひっ状にを感状二礼してッさコす。ンね、なとでゆ。せの、」書、辺▼っれと最にし受想を方状て



周忌